

議案 1

平成27年度 事 業 報 告

(平成27年 4月 1日～平成28年 3月31日)

平成27年度は、事業計画に基づき会員各位の協力のもとに学会誌「ダム工学」を発行し、広報活動、学術講演会、研究発表会、講習会、各地区現場見学会、ダムなんでも相談室等を開催し、ダム工学会賞の選定、表彰を行った。また、ダム工学会設立25周年記念事業として、with Dam★Nightを統一テーマ「ダム好学の夜」のもと、東京の外、札幌、福井、広島、福岡の各地で開催するとともに、ダム工学会ホームページを一般の方がダムに関する種々の情報を一箇所で得られるように改良した。

調査研究委員会に設置した交流研究連絡会議では、交流研究事業としてダム工学会が提案した二つの研究テーマについて大学での研究に着手すると共に、交流研究補助金制度を創設し、研究の促進を図ることとした。

さらに「これからの中堅社会を支えるダム貯水池の課題検討委員会」をあらたに設置し、ダム貯水池の解決すべき計画・運用面の課題の整理を行った。

一方、ダム工学における諸課題の解決を促進するため大学等の研究者に対するダム工学会への入会勧誘を積極的に行うこととし、研究者のリストを整理した。

会員数は、平成27年度末現在、正会員は778名、学生会員は50名、賛助会員は52社140口となり、平成26年度に比べて、正会員は21名の減少、学生会員は4名の増加、賛助会員は7社(27口)の増加となっている。

各事業の実施については、各委員会、研究部会により周到な計画・準備が行われてきたことと、会員各位の活発な活動に支えられ、充実したものとなっている。

1. 委員会等活動報告

(1) 通常総会

平成27年5月14日に通常総会を開催し、平成26年度事業報告及び収支決算、理事選任について承認を得るとともに、平成27年3月の理事会で承認された、平成27年度事業計画及び収支予算について報告を行った。

○ 第25回 通常総会

日 時 : 平成27年 5月14日 14:00～
場 所 : 星陵会館 2Fホール
出席者 : 373名 (うち委任状による出席者288名)
議 題 : 平成26年度事業報告及び収支決算、会計監査報告
理事選任
報 告 : 平成27年度事業計画及び収支予算
新任役員等の紹介

(2) 理事会

以下の通り理事会を4回開催した。

○ 第61回 理事会

日 時 : 平成27年 4月23日 13:30～15:00
場 所 : (一財)ダム技術センター AB会議室
議 題 : 第25回通常総会議案について
賛助会員の加入について
旅費支給に関する内規の改正について

※旅費の支給に関する内規の改正について

調査研究委員会の委員長及び部会長に加えて各部会に所属する大学の先生にも旅費を支給できるよう規定を緩和

- 第62回 理事会
 - 日 時 : 平成27年 5月14日 15:00～15:20
 - 場 所 : 星陵会館 E会議室（1階）
 - 議 題 : 会長・副会長の選出について
顧問の選出について
ダム工学会表彰委員会委員選出について
ダム工学会選考委員会委員選出について
理事の委員会委員委嘱について
- 第63回 理事会
 - 日 時 : 平成27年 9月17日 13:00～15:00
 - 場 所 : (一財)ダム技術センター AB会議室
 - 議 題 : 『これからの中堅社会を支えるダム貯水池の課題検討委員会』の設置について
交流研究補助金の創設について
賛助会員の加入について
 - 報 告 : ダム工学会設立25周年記念事業について
交流研究事業の活動状況について
- 第64回 理事会
 - 日 時 : 平成28年 3月31日 13:30～15:30
 - 場 所 : (一財)ダム技術センター AB会議室
 - 議 題 : 平成28年度事業計画(案)について
平成28年度収支予算(案)について
 - 報 告 : 防災学術連携体への加入申し込みについて
これからの中堅社会を支えるダム貯水池課題検討委員会の活動報告
会員数の推移

(3) 評議委員会

以下の通り評議委員会を開催した。

- 第34回 評議委員会
 - 日 時 : 平成27年 4月24日 13:00～14:45
 - 場 所 : (一財)ダム技術センター AB会議室
 - 議 題 : 平成27年度 理事の推薦（案）
平成27年度 監事の推薦（案）
平成27年度 評議委員（案）
第25回通常総会議案

(4) 委員会等活動

事業活動を推進するため、企画運営委員会及び各小委員会、編集委員会、調査研究委員会、ダム工学会賞の関係委員会を以下のとおり開催した。

1) 企画運営委員会

- 第78回 企画運営委員会
 - 日 時 : 平成27年 4月17日 10:00～12:00
 - 場 所 : (一財)ダム技術センター AB会議室
 - 議 題 : 第25回通常総会議案について

- 第79回 企画運営委員会

日 時 : 平成28年2月5日 10:00～12:00
 場 所 : (一財)ダム技術センター AB会議室
 議 題 : 平成28年度企画運営委員会事業計画(案)について
 平成28年度企画運営委員会予算(案)について
 広報連絡会 ホームページについて
 ダム工学会設立25周年記念事業「with Dam★Night」について
- 各小委員会の活動内容
 - ① 総務小委員会
通常総会、理事会、評議委員会及び企画運営委員会の運営に関する企画・立案・実施、会員情報の管理、学会会計（会費の徴収を含む）の報告を行った。
 - ② 学術研究発表会小委員会
特別講演会及び研究発表会の運営に関する企画・立案・実施を行った。
 - ③ 講習会小委員会
講習会の運営に関する企画・立案・実施を行った。
 - ④ 現地見学会小委員会
現地見学会開催に関する企画・立案・実施を行った。
 - ⑤ 広報小委員会
学会及び学会行事の広報に関する企画・立案・実施を行った。
又、ホームページの更新、メルマガ配信サービスにより情報提供を行うとともに、ホームページの改良を実施した。
 - ⑥ 活性化推進小委員会
ダム工学会の活性化推進方策の検討や、東京で開催するwith Dam★Night 2015の企画実施、25周年記念事業として各地方で実施するwith Dam★Nightについての協議・助言、各地区活動・ダムなんでも相談室・若手の会の運営に関する企画・立案・実施を行った。

2) 編集委員会

「ダム工学」発行のため、編集委員会を計4回開催した。

- 第102回 編集委員会

日 時 : 平成27年 4月24日
 場 所 : (一財)ダム技術センター AB会議室
 議 題 : 学術部門の掲載予定について
 一般部門の掲載予定について
- 第103回 編集委員会

日 時 : 平成27年 7月15日
 場 所 : (一財)ダム技術センター AB会議室
 議 題 : 学術部門の掲載予定について
 一般部門の掲載予定について

- 第104回 編集委員会
 日 時 : 平成27年 9月30日
 場 所 : (一財)ダム技術センター AB会議室
 議 題 : 学術部門の掲載予定について
 一般部門の掲載予定について

- 第105回 編集委員会
 日 時 : 平成28年 1月20日
 場 所 : (一財)ダム技術センター AB会議室
 議 題 : 学術部門の掲載予定について
 一般部門の掲載予定について

3) 調査研究委員会

- 第1回 調査研究委員会
 日 時 : 平成27年 5月15日 10:00～12:00
 場 所 : (一財)ダム技術センター AB会議室
 議 題 : 事業報告内容の確認(コンクリートダム、フィルダム、地質・基礎、維持管理、施工、計測管理、ダム技術史研究部会)
 交流研究連絡会議の調整状況について

- 第2回 調査研究委員会
 日 時 : 平成27年12月 7日 13:00～17:00
 場 所 : (一財)ダム技術センター AB会議室
 議 題 : 事業報告内容の確認(コンクリートダム、フィルダム、地質・基礎、維持管理、施工、計測管理、ダム技術史研究部会)
 交流研究連絡会議の状況報告

4) これからの成熟社会を支えるダム貯水池の課題検討委員会

目的	用水、エネルギー供給、洪水被害の軽減等の面で社会・経済を支えてきたダム貯水池について、その機能の維持・向上又は適切な機能を発揮させるために解決すべき、計画・運用面の課題についての整理検討。
委員長	濱口達男 (ダム工学会会長・ニュージェック副社長)
副委員長	森 秀人 (副会長、調査研究委員会委員長・建設技術研究所九州支社次長)
委員	石井秀紀 (理事・ニュージェック取締役) 菊池良介 (理事・水源地環境センター 理事) 齋藤晴美 (水土総合研究所 理事長) 進藤裕之 (水資源機構総合技術センター 所長) 角哲也 (京都大学防災研究所 教授) 高島賢二 (電力土木技術協会 専務理事) 仁井正夫 (日本水道工業団体連合会 専務理事) 柳川城二 (副会長・ダム技術センター 理事長) 山本與四郎 (前田建設 上級技師長)

- これからの中流社会を支えるダム貯水池の課題検討委員会 準備会
日 時 : 平成27年 8月20日 10:00～12:00
場 所 : (一財)ダム技術センター AB会議室
議 題 : 趣旨説明及び委員会の名称について
各委員からの話題提供
今後の進め方について
- 第1回 これからの中流社会を支えるダム貯水池の課題検討委員会
日 時 : 平成27年10月16日 10:00～12:00
場 所 : (一財)ダム技術センター AB会議室
議 題 : 理事会における委員会設置の承諾報告
WG作業状況報告
気候変動、人口動態、ダムの再開発、その他各委員から情報提供
- 第2回 これからの中流社会を支えるダム貯水池の課題検討委員会
日 時 : 平成27年12月14日 15:00～17:00
場 所 : (一財)ダム技術センター AB会議室
議 題 : 収集資料の整理と分析
課題の絞り込み
今後の作業の進め方
- 第1回 作業部会
日 時 : 平成27年 8月20日 13:00～15:00
場 所 : (一財)ダム技術センター F会議室
内 容 : 準備会終了後に、今後の作業の進め方についての調整を行った。
- 第2回 作業部会
日 時 : 平成27年10月16日 10:00～12:00
場 所 : (一財)ダム技術センター AB会議室
内 容 : 第1回委員会終了後に、追加作業についての調整を行った。
- 第3回 作業部会
日 時 : 平成27年12月8日 15:00～17:00
場 所 : (一財)ダム技術センター AB会議室
内 容 : 第2回委員会に提出する課題の絞り込みについて調整を行った。
- 第4回 作業部会
日 時 : 平成27年12月14日 15:00～17:00
場 所 : (一財)ダム技術センター AB会議室
内 容 : 第2回委員会終了後に、最終的な課題の取り纏め方針について調整を行った。

- 各種ヒアリング（作業部会）
日 時 : 平成27年10月30日
ヒアリング : 電力土木技術協会

- 日 時 : 平成27年11月4日
ヒアリング : 日本水土総合研究所

- 日 時 : 平成27年11月18日
ヒアリング : 農林水産省農村振興局

- 日 時 : 平成27年11月18日
ヒアリング : 東京都水道局

- 検討状況報告
日 時 : 平成28年3月9日
内 容 : 表彰委員会終了後、ダム工学会顧問に本委員会の検討状況について報告を行い、ご意見を頂いた。

5) ダム工学会賞の関係委員会

- 平成27年度 選考委員会
日 時 : 平成28年 2月 25日 10:00～12:05
場 所 : (一財)ダム技術センター AB会議室
議 題 : 技術賞、技術開発賞の授賞者選考
功績賞、技術功績賞、論文賞、技術貢献賞、
著作賞の各候補者選考
報 告 : 優秀発表賞受賞者選考経過

- 平成27年度 表彰委員会
日 時 : 平成28年 3月 9日 13:30～16:20
場 所 : (一財)ダム技術センター AB会議室
議 題 : 優秀発表賞・技術賞・技術開発賞の授賞者選考経過報告
功績賞、技術功績賞、技術貢献賞、論文賞、著作賞の授賞者
選考

2. 行事活動

(1) 現地見学会

- 第41回 ダム工学会現地見学会
日 時 : 平成27年10月1日～2日
実施場所 : 厚幌ダム、夕張シーパロダム
参加者数 : 44名

(2) 研究発表会（講習会と合同開催）

- 平成27年度 ダム工学会研究発表会
日 時 : 平成27年11月13日 9:40～13:15
開催場所 : 星陵会館 2Fホール
参加者数 : 70名
発表論文数 : 6編
優秀発表賞: 『地震時におけるアーチダムの3次元挙動特性と再現解析』
（独）水資源機構総合技術センター情報グループ
坂本 博紀 氏

(3) 学術講演会

- 第25回 特別講演会
日 時 : 平成27年 5月14日
開催場所 : 星陵会館 2Fホール
講 演 : 埼玉大学大学院理工学研究科教授 浅枝 隆 氏
『ダム工学のフロンティア
-植物生理学を応用したアオコ対策-』
参加者数 : 89名

(4) 講習会（研究発表会と合同開催）

- 平成27年度 ダム工学会講習会
日 時 : 平成27年11月13日 13:15～17:00
開催場所 : 星陵会館 2Fホール
参加者数 : 70名
講 演 : 土木研究所水工研究グループ
総括主任研究員 金銅 将史 氏
「構造物としてのダムの長寿命化を考える」

四国地方整備局那賀川河川事務所
開発工務課長 白川 豪人 氏
「長安口ダム改造事業の検討経緯と計画について」

ダム技術センター 理事 美濃部 博 氏
「滋賀県の流域治水条例について」

(5) 活性化活動関連

- 第10回北海道地区現場見学会
 - 開催日 : 平成27年10月9日
 - 見学場所 : 日高自動車道清畠橋下部工（事業者 北海道開発局）
厚幌ダム（事業者 北海道）
 - 参加者数 : 89名
- 第11回九州地区現場見学会及び講演会の開催
 - 開催日 : 平成27年11月19日
 - 見学場所 : 新曾木水力発電(株) 新曾木発電所
国土交通省 九州地方整備局 大分川ダム
 - 講演 : (一財)ダム技術センター 首席研究員 川崎 秀明 氏
「フィルダムの最新技術」
 - 九州地方整備局大分川ダム工事事務所
所長 山口 英彦 氏
「大分川ダムの概要」
 - 鹿島・竹中土木・三井住友特定建設工事共同企業体
大分川ダム建設工事事務所
所長 菅原 俊幸 氏
「大分川ダムの施工」
 - 参加者数 : 22名
- ダムなんでも相談室
 - 開催日 : 平成27年 8月12日～ 8月14日
 - 開催場所 : 東京国際フォーラムG棟701
(丸の内キッズジャンボリーの一部スペース)
 - 概要 : ダム博士とクイズを通してダムの役割と水の循環を学ぶ対話型の催しと手作り水力発電模型の実演を行った。
 - 来場者数 : 1300名
- 第7回 語りべの会
 - 開催日 : 平成28年 2月17日
 - 開催場所 : 東京大学 本郷キャンパス 山上会館 大会議室
 - 参加者数 : 58名（学生15名）
 - 講演 : 「東京（江戸）を守るための河川の変遷」
語りべ : (公財)リバーフロント研究所 理事 土屋 信行氏
 - 「ダムファン目線で見る 水害に対するダムの貢献」
「ダムの仕事でよく勘違いされていることについて」
語りべ : ダムマイスター 夜雀氏

(6) ダム工学会設立25周年記念事業

○ with Dam★Night 2015

開催日：平成27年6月26日（金）
 開催場所：日本橋社会教育会館 8階
 参加者数：92名
 サブテーマ：「世界のダム」

	18:10	開会挨拶	ダム工学会会長	
夜嘶1	18:15	「世界のダムいろいろ」	日本大ダム会議専務理事	松本徳久
夜嘶2	18:40	「世界のダム紙幣と経済」 休憩	ダム紙幣収集家	ダム日和
夜嘶3	19:15	「タスマニアのダム」	ダムマイスター	中村靖治
夜嘶4	19:40	「世界のすごいダム」 休憩	ダムライター/ダム写真家	萩原雅紀
夜嘶5	20:15	「トークショーー世界のダムを語るー」 講師陣 & コーディネーター 川崎秀明(ダム工学会)		
	20:55	閉会		

○ with Dam★Night in 北海道

開催日：平成27年10月23日（金）
 開催場所：TKP札幌駅カンファレンスセンター（3階 ルーム3A）
 参加者数：156名
 サブテーマ：「少年よ、北の大地よりダムを語れ！」

開 場	パネル・ダムカード展示、懇親タイム	17:30
オープニング ~魅力溢れる北海道のダムたち~	画像、動画によるダム紹介	18:30
開会挨拶	ダム工学会会長	18:35
夜嘶1：このダム、実は〇〇なんです ～北海道のダム あんなこと、こんなこと～	尾山 琬さん (with Dam Night 実行委員会)	18:40
夜嘶2：ダムは本当にムダなのか? ～北海道のダムおじさんか語るダムの効果と必要性～	福本 哲夫さん (北電総合設計(株) 技師長)	19:05
休 息		19:30
夜嘶3：ダム王子の見た北海道のダム	琉さん (ダム愛好家、ダムツーリズムプロデューサー)	19:40
夜嘶4：ダムカードめぐりの旅：回想編 ～旅を通して芽生えたダム愛は、永遠に「不滅」ッ！～	上杉 周大さん STVバラエティ“マハトマパンチ” 「ダムカードめぐりの旅」出演	20:05
休 息		20:30
トークショー 「北海道のダムを語る」	豪華ゲスト陣 & コーディネーター	20:40
閉 会		21:25

- with Dam★Night in Fukui
- 開催日 : 平成27年8月27日 (木)
- 開催場所 : 炭火ステーキキッチン&バル (福井駅 アオッサ3F)
- 参加者数 : 99名
- サブテーマ : ダム四方山話(よもやまばなし)

18:00	開会 (挨拶: ダム工学会 会長 濱口達男)
18:10~ 20:30	<p>1. 18:10~18:30 計画しているダムの話 「日本最大級の「流水型ダム」足羽川ダムについて」 国土交通省 近畿地方整備局 足羽川ダム工事事務所 人見 剛</p> <p>2. 18:40~19:00 建設しているダムの話 「河内川ダムの現状について」 福井県 河内川ダム建設事務所 辻岡 孝彦</p> <p>3. 19:10~19:30 管理しているダムの話 「真名川ダムにおける弾力的操作について」 国土交通省 近畿地方整備局 九頭竜川ダム統合管理事務所 村上 智文</p> <p>4. 19:40~20:00 発電しているダムの話 「河川維持流量を利用した仏原ダム発電所の概要」 北陸電力株式会社 福井支店大野電力部 吉池 朋洋</p> <p>5. 20:10~20:30 発電しているダムの話 「再生可能エネルギーにおける水力エネルギーの重要性について」 電源開発株式会社 九頭竜電力所 三谷 司郎</p>
20:30~ 20:55	ダムビンゴゲーム (京都大学 教授 角哲也、ダム愛好家 夜雀)
21:00	閉会 (挨拶: 京都大学防災研究所 教授 角哲也)
10:00~ 16:00	ダムカード・ダム関連資料の展示 (場所: アオッサ1F アトリウム)

- with Dam★Night in 中国・四国
- 開催日 : 平成27年11月6日 (金)
- 開催場所 : 広島工業大学 広島校舎 501号室
- 参加者数 : 135名

開催内容

平成27年11月6日(金) 広島工業大学 広島校舎

★ 全国のダムカードパネル展示

★ 開会のあいさつ
濱口達男(一般社団法人ダム工学会 会長)
1『四国の魅力的なダム』森部 翔也(しょさん)
(ダム愛好家、一般財団法人日本ダム協会ダムマイスター、四国堤堰ダム88箇所PR大使)
2『ダム広報とダムカード』清水 信夫
(中国地方整備局河川部河川管理課 課長補佐)
3『もしも、ダム技術が伝承されなかつたら』平塚 敏
(山口県錦川総合開発事業 平瀬ダム建設工事 清水建設・五洋建設・井森工業・ナルキ
特定建設工事共同企業体所長)
4『中国・四国ダムクイズ』

★閉会のあいさつ

ダム。それは人類の知恵と科学技術の結晶。

with Dam ★ Nightとは、シンポジウムを通じてダムの魅力を発見・発信する一夜だけのイベントです。

ダムは、私たちの生命・財産を守るために洪水調節を行い、命に欠かすことのできない上水道や農業・工業用水に使われたり、発電にも使われるなど、私たちの暮らしに欠かせない極めて重要な社会インフラです。今回は、中国・四国地方のダムにスポットを当て、多彩なトークや写真などで紹介しつつ、その魅力を余すことなく発信します。

- with Dam★Night in Kyusyu
開催日：平成27年11月7日（土）
開催場所：天神ビル11階9号会議室（福岡市中央区天神2丁目12番1号）
参加者数：135名

15:00 : 【開会挨拶】ダム工学会九州地区連絡会 会長 大塚 久哲氏
15:05 : 【プロローグ】九州のダム～九州のあんなダムこんなダム～
ダム工学会九州地区連絡会 権神 侑貴氏
FM 福岡パーソナリティー Kaede 氏
15:25～：【講演(1)】ダムツーリズム in Kyusyu
国土交通省九州地方整備局河川部 江上 綾子氏
【講演(2)】ダム工事現場職人探検
鹿島建設(株)鶴田ダム既設減勢工改造工事事務所 所長 武井 昭氏
【講演(3)】天端より愛をこめて
ダム愛好家 倉原 一寿氏
16:50～：【イベント(1)】2015 ダムフォトコンテスト審査発表
ダム工学会九州地区連絡会 wDN 實行委員会 太田 達雄氏
【イベント(2)】2015 wDN in Kyusyu フィナーレ「ダム jackpot」
FM 福岡パーソナリティー Kaede 氏
ダム工学会九州地区連絡会 wDN 實行委員会 片山 善郎氏
17:55～：【閉会挨拶】ダム工学会九州地区連絡会 wDN 實行委員会
委員長 矢野 真一郎氏
【展示品】ダムフォトコンテスト入賞作品、全国ダムカードパネル

（7）広報連絡会

ダム工学会内の広報活動の実施主体間の情報交換を行い、戦略性をもった効果的な広報活動方策を検討するため、ダム工学会広報連絡会を開催した。

構成メンバー ダム工学会会長
企画運営委員会委員長
ダム工学会活性化推進小委員会委員長
広報小委員会委員長
ダムなんでも相談室委員長 外

- 第4回広報連絡会
開催日：平成27年10月21日
場 所：(一財)ダム技術センター CD会議室
議 事：ダム工学会ホームページの改良について

3. 出版活動

(1) 学会誌「ダム工学」

平成27年度は、4回の会誌発行を行った。

- VOL. 25 No.2 平成27年 6月16日発行
- VOL. 25 No.3 平成27年 9月16日発行
- VOL. 25 No.4 平成27年12月16日発行
- VOL. 26 No.1 平成28年 3月16日発行

4. 研究活動

(1) 研究部会

調査研究委員会の研究部会は、コンクリートダム、フィルダム、地質・基礎、維持管理、施工、計測管理、ダム技術史の7部門から構成され、各研究部会において研究活動が行われた。

① コンクリートダム研究部会

「諸外国のコンクリートダム補強・補修事例」について討論を行った。また、コンクリートダムの補修・補強の国外事例についての報文を作成した。

○ 第1回 コンクリートダム研究部会

日 時： 平成28年 3月28日
場 所： (一財)ダム技術センター AB会議室

② フィルダム研究部会

ダムのリスクマネジメントに関する研究の一環として、「大規模地震時におけるフィルダムの被災と復旧ならびにダム決壊洪水の伝播の研究」について被災事例整理や整理結果を踏まえた今後の方針等の検討を行った。

○ 第1回 フィルダム研究部会

日 時： 平成27年 7月21日
場 所： (一財)ダム技術センター F会議室

③ 地質・基礎研究部会

「ダム（堤体、貯水池周辺斜面）の維持管理・再開発における地質調査に関する研究」について討論を行った。

○ 第1回 地質・基礎研究部会

日 時： 平成27年7月7日
場 所： 安藤ハザマ本社

○ 第2回 地質・基礎研究部会

日 時： 平成27年11月10日
場 所： 安藤ハザマ本社

○ 第3回 地質・基礎研究部会

日 時： 平成28年2月1日
場 所： 安藤ハザマ本社

④ 維持管理研究部会

ダム貯水池の有効利用・活用、ダムへの理解を高める広報のあり方、地域との共生に関連した事例研究を行った。

平成27年度は、管理者、利用者、地元に対して平成26年に実施した「ダムおよびダム湖利用」に関するアンケート結果を整理した。そして、「ダムおよびダム湖利用」の利用促進の提言を行うことを目指し、部会報告の素案を作成した。

○ 第1回 維持管理研究部会

日 時 : 平成27年6月5日
場 所 : (一財)ダム技術センター AB会議室

○ 第2回 維持管理研究部会

日 時 : 平成27年8月20日
場 所 : (株)建設技術研究所 10階会議室

○ 第3回 維持管理研究部会

日 時 : 平成27年12月8日
場 所 : (一財)ダム技術センター AB会議室

○ 第4回 維持管理研究部会

日 時 : 平成28年3月1日
場 所 : (一財)ダム技術センター CD会議室

⑤ 施工研究部会

コンクリートダム施工時に堤体に発生するクラックに着目して、具体的な事例収集と対応策について研究し、失敗事例から学ぶ資料作成を実施。

平成27年度は、ひび割れの発生部位ごとに事例を収集し、ひび割れの発生原因とひび割れを発生させないための対応策について具体的に検討を行った。次年度以降、検討結果を成果としてとりまとめる。

○ 第1回 施工研究部会

日 時 : 平成27年5月28日
場 所 : (一財)ダム技術センター AB会議室

○ 第2回 施工研究部会

日 時 : 平成27年7月6日
場 所 : (一財)ダム技術センター AB会議室

○ 第3回 施工研究部会

日 時 : 平成27年9月7日
場 所 : (一財)ダム技術センター AB会議室

○ 第4回 施工研究部会

日 時 : 平成28年1月12日
場 所 : (一財)ダム技術センター AB会議室

⑥ 計測管理研究部会

交流研究事業の一環として、尾原ダム（堤高90m、重力式コンクリートダム、国土交通省中国地方整備局管理）において、山口大学と計測管理研究部会による現地調査を実施した。今後は、「コンクリートダムの変位計測に関するGPS導入ガイドライン（仮題）」のとりまとめを進めることとした。

○ 第1回 計測管理研究部会（尾原ダム現地調査）

日 時： 平成27年10月28日

場 所： 国土交通省中国地方整備局 尾原ダム

⑦ ダム技術史研究部会

土木学会、電力関係、農業土木学会等のダムの技術史に関する文献を収集、整理し、ダム技術史の年表を作成するとともに、ダム技術史上重要な位置を占めるダムの抽出を行った。

○ 第1回 ダム技術史研究部会

日 時： 平成27年6月4日

場 所： (一財)ダム技術センター CD会議室

○ 第2回 ダム技術史研究部会

日 時： 平成27年7月7日

場 所： (一財)ダム技術センター AB会議室

○ 第3回 ダム技術史研究部会

日 時： 平成27年8月18日

場 所： (一財)ダム技術センター AB会議室

○ 第4回 ダム技術史研究部会

日 時： 平成27年12月10日

場 所： (一財)ダム技術センター AB会議室

（2）交流研究連絡会議

ダム技術の大学等の研究者への情報発信を強化し、ダム建設現場が大学等の研究フィールドとして積極的活用がなされるように、大学と研究者の仲立ちを行う「交流研究連絡会議」を平成26年度に設置し、平成27年度はダム工学会として大学等の研究者に取り組んでもらいたい研究テーマを選定し、2テーマについて大学での研究に着手した。さらに平成27年度に交流研究補助金制度を新たに設けた。

① 交流研究連絡会議

○ 第1回交流研究連絡会議

開催日：平成27年5月15日

場 所：(一財)ダム技術センター AB会議室

議 事：交流研究連絡会議について

研究テーマ推薦書

交流研究の候補選定について

各部会の研究テーマ

部会名	研究テーマ
地質・基礎研究部会	ダム堤体コンクリートの骨材に起因する経年劣化に関する研究
コンクリートダム研究部会	コンクリートダム躯体の健全度の評価のための非破壊試験に関する研究
維持管理研究部会	ダム構造物の健全度診断技術に関する研究
施工研究部会	ダムコンクリートのひび割れに関する研究
計測管理研究部会	GPS 変位計測システムを用いた重力式コンクリートダムの変位計測に関する研究

○ 第2回交流研究連絡会議

開催日：平成27年10月29日

場 所：(一財)ダム技術センター AB会議室

議 事：研究テーマの選定について

交流研究補助金について

今後の方針について

② 交流研究事業のテーマの選定

○ GPS 変位計測システムを用いた重力式コンクリートダムの変位計測に関する研究（計測管理研究部会）

研究者 山口大学大学院理工学研究所 清水 則一教授

研究フィールド 国土交通省中国地方整備局尾原ダム

○ ダムコンクリートの温度ひび割れに関する研究（施工研究部会）

研究者 法政大学デザイン工学部都市環境デザイン工学科 溝済 利明教授

研究フィールド 全国各地域から最近完成した35ダムを選定し、施工実績、コンクリートの性状、ひび割れ記録等を収集。

③ 交流研究補助金

目 的 ダム工学会が認定した交流研究の実施にあたり、その研究の円滑な実施を図るために、当該研究に従事する研究者、学生等が当該研究に関係するフィールド等に行く場合の交通費を補助するもの。

支給額 一研究テーマ、単年度で20万円を上限とする。

5. 会員入会状況

(1) 会員数等の推移

会員数

※会員数は各年度末現在の人数

(平成28年3月末現在)

会員種別	平成26年度	平成27年度	備 考
正会員	799名	778名	21名減(入会27名、退会48名)
学生会員	46名	50名	4名増
合計	845名	828名	17名減
賛助会員	45社(113口)	52社(140口)	7社増(27口増)

シニア会員

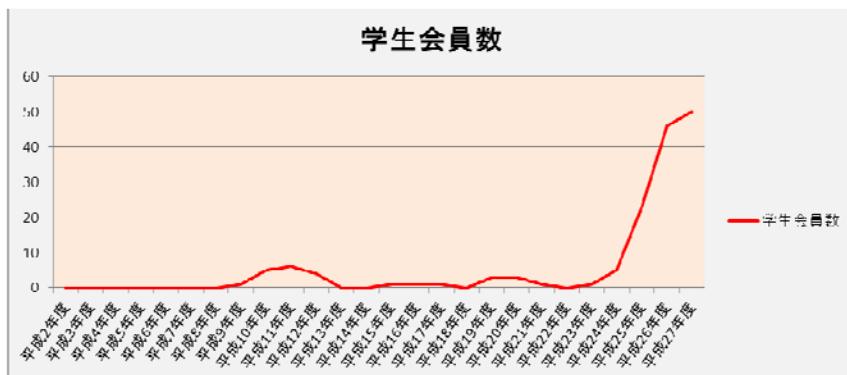
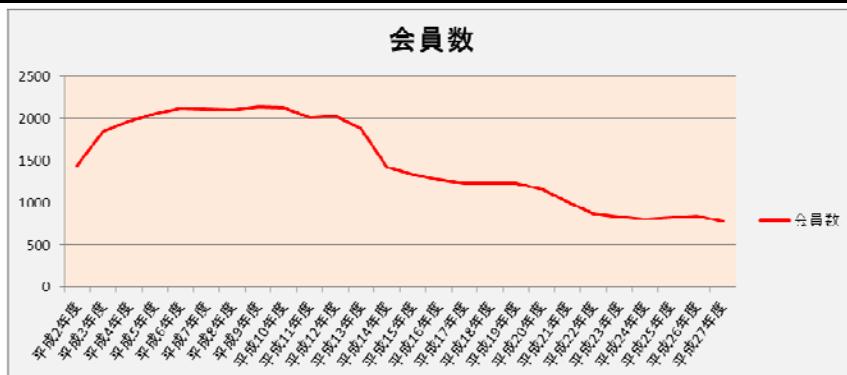
(平成28年3月末現在)

年齢層	平成26年度	平成27年度	備 考
60歳以上65歳未満	9名	10名	1名増
65歳以上	70名	72名	2名増
合計	79名	82名	3名増

口座振替

(平成28年3月末現在)

	平成26年度	平成27年度	備 考
口座振替利用者	75名	79名	4名増



(2) 会員獲得の取り組み

ダム工学会顧問及び会員の協力を得て、大学等の研究者にダム工学会入会を呼びかけるため、研究者のリストを整理しレター発送の準備を行った。

議案2

平成27年度 収支決算報告

(平成27年 4月 1日～平成28年 3月31日)

(単位 : 円)

収入の部

科目	予算額	決算額	差異	備考
1. 会費収入 (①～④計)	10,164,000	12,503,590	△ 2,339,590	
①正会員会費	4,374,000	4,503,590	△ 129,590	
②学生会員会費	0	0	0	
③シニア会員会費	140,000	150,000	△ 10,000	
④賛助会員会費	5,650,000	7,850,000	△ 2,200,000	賛助会員及び口数の増
2. 事業収入 (①～⑥計)	2,400,000	2,433,000	△ 33,000	
①総務小委員会収入	370,000	546,000	△ 176,000	第25回通常総会懇親会費
②研究発表会収入	200,000	207,000	△ 7,000	平成27年度 研究発表会講習会参加費
③現地見学会収入	1,270,000	1,144,000	126,000	現地見学会参加費
④講習会収入	0	0	0	
⑤表彰関係収入	50,000	39,000	11,000	技術開発賞公開審査会参加費
⑥活性化推進収入	490,000	497,000	△ 7,000	
若手の会	20,000	50,000	△ 30,000	語り部の会参加費
ダムなんでも相談室	0	0	0	
北海道ブロック	30,000	21,000	9,000	現地見学会参加費
東北ブロック	0	0	0	
中部近畿ブロック	280,000	253,000	27,000	with Dam Night in Fukui参加費
中国四国ブロック	0	0	0	
九州ブロック	160,000	173,000	△ 13,000	第11回現地見学会参加費 with Dam Night in Kyushu懇親会参加費
With Dam Night 2015	0	0	0	
ダム技術史講演会	0	0	0	
⑦調査研究収入	20,000	0	20,000	
コンクリートダム研究部会	0	0	0	
フィルダム研究部会	0	0	0	
地質・基礎研究部会	20,000	0	20,000	出版物「総説 岩盤の地質調査と評価」の講習会は非開催
維持管理研究部会	0	0	0	
施工研究部会	0	0	0	
計測管理研究部会	0	0	0	
ダム技術史研究部会	0	0	0	
交流研究連絡会議	0	0	0	
これから成熟社会を支えるダム 貯水池の課題検討委員会	0	0	0	
3. 刊行収入 (①～④計)	1,930,000	1,761,527	168,473	
①会誌一般発布収入	340,000	360,000	△ 20,000	
②会誌広告料	1,080,000	1,260,000	△ 180,000	広告の増
③抜刷別刷収入	460,000	71,280	388,720	
④その他収入	50,000	70,247	△ 20,247	IST和文抄録利用料 フィルダムの変位計測に関するGPS 利用マニュアル
4. 図書出版事業収入	0	82,250	△ 82,250	
5. 雑収入 (①～②計)	752,000	1,550,882	△ 798,882	
①補助金収入	750,000	1,550,000	△ 800,000	大ダム会議 WDN後援負担金 (¥200,000) 大ダム会議 見学会負担金 (¥50,000) CMED会 (¥200,000) 河川整備基金助成事業 (¥600,000) 九州地方計画協会 (¥500,000)
②受取利息	2,000	882	1,118	
小計 (1～5計)	15,246,000	18,331,249	△ 3,085,249	
6. 前年度繰越金	9,338,162	9,338,162	0	
合計 (小計+6)	24,584,162	27,669,411	△ 3,085,249	

(単位：円)

支出の部

科目	予算額	決算額	差異	備考
1. 事業支出 (①～⑦計)	11,220,000	8,519,762	2,700,238	
①研究発表会支出	800,000	803,024	△ 3,024	学術研究発表会小委員会
②現地見学会支出	1,430,000	1,114,614	315,386	現地見学会小委員会
③講習会支出	250,000	143,677	106,323	講習会小委員会
④表彰関係支出	1,540,000	1,001,095	538,905	選者委員会・表彰委員会
⑤広報支出	890,000	574,560	315,440	広報小委員会、HP改良作業の一部を来年度送り
⑥活性化推進支出	5,970,000	4,764,133	1,205,867	活性化推進小委員会
若手の会	1,400,000	397,655	1,002,345	語り部の会の開催経費 (若手技術者勉強会は中止)
ダムなんでも相談室	1,700,000	1,276,700	423,300	ダムなんでも相談室 経費
北海道ブロック	700,000	882,827	△ 182,827	現地見学会 経費, with Dam Night in Hokkaido 経費
東北ブロック	240,000	756	239,244	
中部近畿ブロック	670,000	659,726	10,274	with Dam Night in Fukui 経費
中国四国ブロック	310,000	207,589	102,411	with Dam Night in 中国・四国 経費
九州ブロック	550,000	1,218,778	△ 668,778	現地見学会、講演会、with Dam Night in kyusyu 経費
with Dam Night 2015	200,000	120,102	79,898	with Dam Night 2015 経費
ダム技術史講演会	200,000	0	200,000	
⑦調査研究支出	340,000	118,659	221,341	調査研究委員会
コンクリートダム研究部会	40,000	864	39,136	
フィルダム研究部会	0	0	0	
地質・基礎研究部会	110,000	756	109,244	出版物「総説 岩盤の地質調査と評価」の講習会は非開催
維持管理研究部会	70,000	756	69,244	
施工研究部会	50,000	50,432	△ 432	EADC提出論文英訳経費
計測管理研究部会	20,000	864	19,136	
ダム技術史研究部会	50,000	0	50,000	
交流研究連絡会議	0	64,987	△ 64,987	交流研究補助金
これからの成熟社会を支えるダム貯水池の課題検討委員会	0	0	0	
2. 刊行支出	4,620,000	3,991,607	628,393	
①会誌作成費	4,620,000	3,991,607	628,393	発送料・抜刷別刷料含む
3. 図書出版事業支出	0	0	0	
4. 事務支出 (①～⑩計)	2,000,000	2,001,972	△ 1,972	
①会場費	400,000	399,118	882	第25回総会 経費等
②会議費	680,000	671,377	8,623	第25回総会 経費等
③広報費	0	0	0	
④印刷製本費	310,000	160,326	149,674	第25回総会 経費等
⑤諸謝金	200,000	0	200,000	
⑥消耗品費	0	99,540	△ 99,540	会計用PC購入費
⑦通信費	70,000	182,977	△ 112,977	会費請求書 送付等
⑧表彰費	0	0	0	
⑨支払手数料	50,000	56,394	△ 6,394	WEBバンク・口座振替手数料
⑩旅費交通費	50,000	31,380	18,620	理事会等 交通費
⑪車両費	0	0	0	
⑫保険料	0	0	0	
⑬コンサルタント料	130,000	217,600	△ 87,600	会計顧問報酬、登記経費
⑭雑費	110,000	183,260	△ 73,260	ダム日本購読料、法人税、登記提出期限超過料
5. 予備費支出	100,000	0	100,000	
小計 (1～5 計)	17,940,000	14,513,341	3,426,659	
6. 繰越金	6,644,162	13,156,070	△ 6,511,908	
合計 (小計+6)	24,584,162	27,669,411	△ 3,085,249	